



5	木	内科検診(15:00~) 絵本の読み聞かせ(5歳児) 給食費振替日(3歳児以上)
7	土	運動会(3・4・5歳児)土曜保育無し
12	木	カレーの日
13	金	交通安全教室(4・5歳児)
17	火	ピヨピヨひろば
18	水	尿検査提出日(9:00まで) おべんとうデー
25	水	誕生会
26	木	歯科検診(10:00~)
27	金	避難訓練
30	月	不審者対応訓練

「星の王子さま」を数十年ぶりに読んでいたら、大きなカメ虫が乱入してきた。「小さな命を救った時、自分が美しい気がする」という室生犀星の詩を思い出し、つまんで外に逃がしてやったが、部屋中に強烈な悪臭を残していった。美しい気になれず、窓を全開した。暫くすると、とても良い香りが漂ってきた。窓の外に目をやると、高い空に、今年初めてのうろこ雲。そして、大きな金木犀が、西日を受けてキラキラと黄色に輝いていた。「犀星」と「金木犀」の字の偶然と良い香りと、秋空に、今度は美しい心になった。

「大人は、誰も初めは子どもだった。(しかし、そのことを忘れずにいる大人は、いくらもない)心で見なければ、物事は見えない。肝心なことは目に見えない。」星の王子さまの一節を、子どもの頃の皆様へ。

そして、流れる雲のように去っていく秋を、子ども達と、子どもになつて、楽しみましょう。

今年の秋は、特に短そう。

筑波山に登ったよ！(5歳児)

・秋晴れの中、筑波登山に出発！バスの中では、マスク着用・換気を行い・大きな声を出さないように注意しながらも、筑波山が近づいてくると、ハイテションな子ども達。いよいよ登山開始、「わあーたいへん」「つかれたー」と言いながらも行き交う人に「こんにちはー」「がんばってください」と声を掛け、転んだ友だちには、「だいじょうぶ？」「がんばれ」と励ましあう姿もあり、子ども達の逞しい姿に成長を感じました。筑波山を登りきったことが、大きな自信になってくれればと思います。

今月の予定の中から・・・

●内科検診(5日) 歯科検診(26日)

・当日欠席の場合も、受診時間に来園して頂き、全員の方の受診をお願いしています。お子さんの体調管理をする上では必要な事です。

●運動会(7日)

・いよいよ運動会！当日に参加しない0・1・2歳児の子ども達も、運動会ごっこを見たり、真似てみたり、沢山の刺激を受けています。当日は、3歳児以上の参加となりますが、子ども達の緊張しながら楽しむ姿に、拍手とポンポンでの声援を宜しくお願いします。

●尿検査提出日(18日)

・当日朝の尿をとり、9時までに必ず提出をして下さい。

●おべんとうデー(18日)

・毎回、お弁当の準備ありがとうございます。ミニトマトやぶどう等丸いものは誤飲の恐れがあります。お弁当に入れる場合は4等分に切るまたは、入れないようにお願いします。

●誕生会(25日)

・今月は木曜日(26日)に歯科検診の為前日にあります。出し物は、先生達の手品です。今月はホールで2部制で行います。

●不審者対応訓練(30日)

・今年2回目の「不審者対応訓練」では、保育

士間での対応の確認をして、もしもの時に備えます。

★お知らせ

・来週から、フードの無い薄手のジャンパーのご用意をお願いします。ジャンパーは、月曜日から金曜日まで園に置いて頂き、週末には持ち帰り、洗濯をお願いします。また、ジャンパーを掛ける子ども用ハンガーに名前を書いて一緒に持ち下さい。

・「よるまでお楽しみ会」で実現しなかった飯盒炊飯を今月計画中です。日にちが決まり次第お知らせします。

・非常勤職員の岡田里咲先生が今月より産休に入ります。育休明けには復職予定です。

「ボーツと生きている 時間も大切である」



TV番組のチョコちゃんが人気だ。ゲストに質問をして、答えられないと「ボーツと生きているじゃないよ！」と額に青スジを立てて怒る様子と、ゲストの反応が面白いようだ。質問の内容は、答えられなくとも、どうでもいいものである。人はボーツと生きている時間大切である。むしろ、充実した人生を送るためには、ボーツと生きている時間が必要だ。

▼打ち寄せる波と青く広がる海を眺めたり、流れる雲と山にじっくり対座するのが好きだ。子どもの頃、急な雨に、あわてふためいて走って行く人々を、玄関の前の踏み石に座って眺めているのが好きだった。幼稚園でも軒の下のベンチに座って、雨に煙る林と園庭をたたく雨をボーツと眺めているのが好きだ。必ず子ども達が寄ってきて、「何してるの？」と尋ねる。「何もしてないよ。ただ、雨を見ているの」と答え、「一緒に見ていようよ」と言うと、しばらくただ黙って見て、黙って去って行く。何を感じただろう。▼現代は、ますます忙しくなっている。忙しい、

という言葉は好きではない。よく忙しそうですわね？と言われる。失礼になるので「忙しい」という言葉は好きではない」とは言えないが、「忙しそうに見られるのは残念です。忙しいとは心を亡くす、と書きますから」と言うと、謝られることがある。熱中して仕事・勉強・遊びをすることは大切なことだ。しかし、心を亡くす程、時間に追いかけることは良くない。そういう時は、深く思考したり、創造的なキラメキをしたりすることはできない。ボーツと生きている時の方が、感じたり、ヒラメイたりする。自然の中でゆったり過ごす中で、香りや味や光や音を感じる感動を体験することが、人生を豊かにする。▼考えてみると、幼稚園も随分忙しくなった。小学校並みに朝からお帰りまでピシッリ時間が組んである幼稚園がある。登園すると、黒板にその日の時間割が組んであり、すぐに1時間目の活動になり、次から次へと予定どおり行動しなければならぬ。全て集団行動でキチッと決められている。ボーツと生きている時間などない。幼児期は発達に差があり、個性が豊かである。それぞれが好きな事、興味・関心があることにじっくり取り組んでいくことで、「不思議だな？どうして？何故？どうしよう・・・」と好奇心を膨らませていくことが大切である。それにはゆったりとした時間の流れの中で、やりたい事をとことんやらせることが大切である。この大切な時間の中で、ひとり一人の心の動き、発達をしっかりと見守るのは大切なことである。ピシッリ管理して、集団で行動させる方が、大人にとっては楽(らく)であるが、子どもには楽しくない。指示に従うだけで、主体性も育たない。しかし、一般的に保護者(大人)は、自発性・主体性のかからもないうる整然と訓練・管理されたマーチングなどが大好きである

